

# お知らせ

只今、インフルエンザ感染拡大防止のため  
**面会制限中です**

インフルエンザの流行時期になりました。施設内での入居者様、職員、周辺地区の感染状況を受け、1月16日より感染予防対策を強化・面会制限を実施しています。

さらなる感染拡大を防ぐために、感染が終息するまでの間は必要な対策を実施していきます。入居者様やご家族様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

**入居申込 受付中!**  
ユニット型個室が比較的短期間で入居が可能です。  
**見学 随時受付中です。**

当施設は、寝たきりや認知症など身体上、精神上著しい障害があり、日常的に介護が必要(介護度3以上)で、自宅等での介護が困難な方がご利用いただける施設です。現在、介護度4, 5の方で主に生活支援が必要な方でユニット型個室をご希望の方は、比較的短期間での入居が可能です。ご相談、施設見学は随時受付中。お気軽にどうぞ。お待ちしております。  
※お問い合わせは、生活相談員まで

**ボランティア 大募集!**  
地域の福祉を支える地元の介護施設で、ボランティアしてみませんか!  
●入居者様のお話を聞く「傾聴ボランティア」●入居者様の衣服の「繕いボランティア」●歌や踊りを披露していただく「音楽芸能ボランティア」●定期開催の『施設内喫茶店ボランティア』など大歓迎です。  
※詳しくは、お気軽にお問合せください。

社会福祉法人みやぎ会  
特別養護老人ホーム なのりの杜・杜2号館・里  
〒020-0001 盛岡市上米内字名乗沢 1-58  
TEL. 019-665-1310 FAX. 019-665-1303

**\*クリスマス会\***  
白石食品様よりクリスマスケーキをいただきました。  
入居者様より「おいしい」との声が聞かれ、笑顔で召し上がられていました。

**\*行事食紹介\***  
1月1日「お正月」弁当

- ・赤飯
  - ・おせち盛り合わせ
  - ・お刺身
  - ・煮しめ
  - ・練り切り
  - ・すまし汁
- (常食)
- 赤飯、おせち、お刺身などでお正月らしい献立にしました。  
常食を召し上がれない方にも楽しんでいただけるよう、ソフト食の見た目にもこだわりました。
- (ソフト食)

**編集後記**  
2020年初めての「あのなはん」発行となります。今年も皆様により多くの情報をお届け出来るよう、素敵な広報誌作りに努めたいと思います。インフルエンザ等流行していますので皆様体調に気を付けてお過ごしください。

**SG GROUP 理念**  
私たち SG GROUP は、ホスピタル精神(おもてなし)をもち、医療・福祉・保健を通じて地域社会の人々の幸せに貢献します。患者・利用者・ご家族に喜ばれ感謝される素晴らしいホスピタル環境づくりとホスピタリティある仕事を徹底して行います。

# 広報 あのなはん 第50号

発行 令和2年2月10日  
特別養護老人ホーム なのりの杜・杜2号館・なのりの里

**もちつき**  
1月6日と8日に餅つきを行いました。施設長と一緒に、みなさんにもお手伝いしていただきながら、おいしいお餅が完成しました。おやつの際に、みなさんの食形態に合わせたお餅を提供いたしました。

おいしいよ〜

ヨイショー!!

**クリスマス会**  
クリスマスは、それぞれ施設ごとにクリスマス会が開催されました。サンタクロースからのプレゼントもあり、皆さん嬉しそうに袋を開けていました。

ありがとう!!

うれしい〜

プレゼントありがとう



私たち SG GROUP は、ホスピタル精神(おもてなし)をもち、医療・福祉・保健を通じて地域社会の人々の幸せに貢献します。患者・利用者・ご家族に喜ばれ感謝される素晴らしいホスピタル環境づくりとホスピタリティある仕事を徹底して行います。



# なのいの里 1・2・3丁目



♪野菜収穫中♪



♪パンケーキ作り♪



♪ハロウィン記念撮影♪



大きなスイカが採れました!!

3ユニット協力してなのりシネマやレクを実施しています。各ユニット野菜を作ったりドライブに行ったりイベント行事をしたりと毎日お元気に、皆さま過ごされております。



♪ドライブヘレッツゴー♪



♪映画鑑賞中♪



## ケアスタッフ紹介

～機能訓練指導員～



兎澤 詩織  
機能訓練指導員  
(作業療法士)



堀内 夏美  
機能訓練指導員  
(作業療法士)

昨年9月より機能訓練指導員2名が採用され、入居者様の日々生活の中で機能訓練を実施しています。特別養護老人ホームは、病院や老人保健施設でのリハビリとは異なり、あくまでも「生活の場」であることを重視しています。入居者様の出来る能力を奪う介護をせずに、少しでもご自身の力で動作を行うことが、生活における機能訓練となります。多職種と連携して、個々に合わせた機能訓練を実施し、出来るだけ自由に楽しみを持って生活が送れるように支援しています。

また、地域住民の皆様からご依頼を受け、当職員が講師となり地域へ出向き「介護出前講座」を開催しています。昨年は城南地区保健推進委員の皆様からお話を頂きました。今後も皆様からご依頼があれば出前講座開催したいと思いますのでお気軽にご相談ください。



介護出前講座



皆と一緒に棒体操!



一緒にトランプ



お手玉作り



缶倒しゲーム

# なのいの里生き生きプロジェクト

## 「炭焼き体験会(火入れ・窯出し)」

生き生きプロジェクト恒例イベント「炭焼き体験会」は、森林公園の講師のもと昨年11月24日(火入れ)、12月8日(窯出し)に開催されました。5年目となる今回の炭は、量も質もこれまでで最高の出来栄になりました。出来上がった炭は、今後、施設内、屋外休憩棟での様々なイベントでも活用されます。



火入れ



窯出し

## 事故防止委員会

事故防止委員会は転倒による骨折や日々の生活の中で出来る内出血や切り傷等の事故を未然に防ぐ為、また同じような事故をもう一度起こさない様にする活動を日々行っています。

主な活動内容として、年に2回の職員向けの研修の実施、病院受診を要する事故の内容の3施設への周知、各ユニット・フロアそれぞれの月毎の事故件数と内容の集計・周知、事故防止器具の管理となります。重大事故が発生した際には委員会内での報告や分析、対策の検討もしております。

また、事故防止器具を活用することにより事故の削減や入居者様への影響を最小限に抑えるよう努めております。

事故防止器具の一例として、床上15cmまで高さを下げることが出来るベッドと衝撃緩和マットを組み合わせ使用し、ベッドから転落した際の衝撃を最小限に抑える物や、居室にモニターを設置しベッドの位置を設定する事で、ベッドから体の一部が出た際や起き上がった際に通知してくれるシルエット見守りモニター、ベッド上で起き上がりや立ち上がりをした事を通知してくれるセンサー内蔵ベッドがあります。この2つは主に転倒の危険やベッドから転落する危険がある方に使用しています。

委員会活動を通して各ユニット・フロアの事故に関する情報を共有し、施設全体で共通認識を持ち少しでも事故を減らして入居者様に安全に、安心して日々の生活を送って頂けるように努めております。



ベッド+衝撃緩和マット



シルエット見守りモニター

## 『看取り介護』の取り組み～

「終の棲家」ともいわれる特別養護老人ホームでの「看取り」の期待は大きく、本人やご家族等への意思決定を支援することが求められます。

令和元年12月4日に看取りに関する内部ミーティングをおこない、弘前にある特養での取り組みについて話がありました。意思決定支援のために看護師が入所時点から看取り意向を確認し、定期的に看取りケアについて考える場を設けながら、看取りケアを利用者・家族と共に多職種で取り組んでいることの紹介がありました。



～看取り研修会の様子～

高齢者が意思表示できる段階から医療職や家族と、人生の最終段階をどう過ごしたいか、どんな医療・ケアを受けたいか、を繰り返し話し合う「ACP(アドバンスケアプランニング)」が必要と考えられます。

“ほぼ在宅(施設)時々入院”の思いのもと「どのように暮らしたいか、人生観や価値観に沿った時を送ることができるよう、受けたい医療、ケアを選択する支援を行う」その人らしく生き、その人らしい最期を迎えられるよう医師、看護職員、介護職員、介護支援専門員、生活相談員等が共同して支援してまいります。

私たち職員一同は、看取り推進のための問題の把握、施設の方針確認、職員研修、看取りマニュアルの見直し、説明会での啓発など実施してまいります。